

の み し き ぎ ょう
能美市の企業



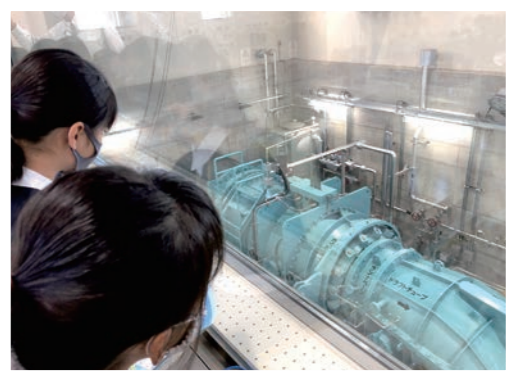
きぎょうけんがく 企業見学では、みらい 未来へのあたらし はっけん 発見があるのだ。



の み し き ぎ ょう
能美市にはSDGsをすすめるたくさんの企業があるのよ。



こまつ 小松マテレで染色体験(浜町)
こまつ 小松マテレの「フアーポ」では、せんしよくたいけん 染色体験やオリジナルクッションづくりなど、せんい せんいを楽しく学ぶワークショップができる。せんもん スタッフがいてねい 作業をサポートしてくれる。こうど 高度であたらし 高度で新しい技術でSDGsをすすめていることも調べられる。



みやたけようすい 宮竹用水の発電所内(宮竹町)
みやたけようすい 宮竹用水の発電所内(宮竹町)の4年生は、みやたけようすい 宮竹用水の見学をしている。こみづ 小水発電所も調べている。



にほんかいはいはつ 日本海開発のパッカー車
パッカー車に「未来につなごう 豊かな海」の言葉と浜小学校の子どものアイデアが詰まったイラストが描かれている。にほんかいはいはつ 日本海開発はSDGs推進に積極的だ。



マンホールのふた
けすいどう 下水道は、みどりがおかしようすい 翠ヶ丘浄水センター(山口町)へ流れていく。うつく 美しい環境づくりにかかせない。よやく 予約して見学をしたい。

にほんかいはいはつ
日本海開発



じゆんかんがたしやかい 循環型社会の形成

ちいき 地域の協力を得ながら、はいきぶつ 廃棄物を回収しているのだ。かいしゆう 回収のほか、さいせい 再生可能なはいきぶつ 廃棄物を処理してさいせい 再生資源につなげているのだ。SDGsを意識した活動にとりくみ 取り組んでいるのだ。



しゃかいこうけん 社会貢献

かんかいしゆう 缶回収からえい 収益の一部をくるま 車イスに変えているのよ。くるま 車イスは市内のしせつ 施設やびやん 病院に寄贈しているわ。



だいこん 大根の栽培(辰口中央小)

せんてい 剪定チップやきゆうしょくた 給食食べ残しをゆうきひりょう 有機肥料に変えているのだ。ゆうきひりょう 有機肥料を使って、しょうがくせい 小学生は一からそだ 育てただいこん 大根をきゆうしょくた 給食で食べているのだ。「食のリサイクル」についてまな 学べるのだ。



にほんかいはいはつ 日本海開発の南さんの話

もともとかぎよう 家業とはべつ 別の職業についていました。しかし、ちち 父がたいちよう 体調を崩したことでげんざい 現在の仕事をひきつぎ 引き継ぎました。ごみ ゴミをあつか 扱う仕事はきれいな仕事ではありません。「誰かがせんならん」とちち 父がよくいってました。いまでは、しめいかん 使命感を持ってとりくみ 取り組み「なくてはならない仕事」であることをはっけん 発信しています。がっこう 学校、ちいき 地域、ぎょうせい 行政のりかい 理解がないわたしたち 私たちのじぎょう 事業はすすめられせん。しゃいん 社員を含め、こども 子供やちいき 地域の人々からげんき 元気ももらっています。このれんけい 連携をしょうがっこう 小学校→ちゅうがっこう 中学校→こうとうがっこう 高等学校→だいがく 大学→ちいき 地域へとつなげていきたいです。

SDGsへの取り組み

11 住み続けられるまちづくりを	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
------------------	--------------	--------------

データ
日本海開発



連絡先 0761-21-6867
住所 能美市山口町727番地

みどりがおかじょうか 翠ヶ丘浄化センター



みどりがおかじょうか 翠ヶ丘浄化センター正面(山口町)



最初沈殿池



最終沈殿池の見学(浜小)

わたしはまいにちたくさんの水を使っているぞ。料理、洗濯、風呂、トイレなどで使った水は、市内にはりめぐらされた下水道を通して、みどりがおかじょうか翠ヶ丘浄化センターに運ばれるのだ。

汚水はいろいろなものが混じっているから、まずゴミを取り除いてから「最初沈殿池」で沈殿しやすい固形物を取り除くのだ。



次の「反応タンク」では、なんと微生物の力を借りて汚れを分解しているの。「最終沈殿池」で汚泥ときれいな水に分けて、安全な水にして海に返しているのよ。

汚水をきれいにするにはいろいろな工夫があるんだね。



SDGsへの取り組み

6 安全な水とトイレを世界中に	11 住み続けられるまちづくりを	14 海の豊かさを守ろう
------------------------	-------------------------	---------------------

しら調べてみよう

- ・1年間にどれくらいの汚水を処理しているのか調べてみよう。
- ・汚水と雨水はどうやって分けているのか調べてみよう。
- ・微生物の働きについて調べてみよう。
- ・汚水を処理した後に残る汚泥はどうなるのか調べてみよう。

データ

翠ヶ丘浄化センター



連絡先 〒929-0126 石川県能美市山口町ト75 Tel 0761-21-1882

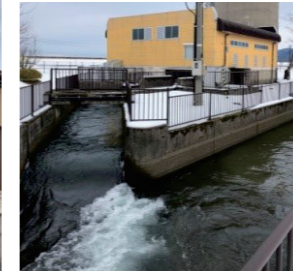
しょうすいはつでん 小水発電



だいいちはつでんしょう 小水発電 第一発電所(岩内町)



だいに はつでんしょう 小水発電 第二発電所(宮竹町)



サイホンの説明を聞く(宮竹小)

みやたけようすい 宮竹用水

みやたけようすい水が、高い所から低い所にいきお勢よく流れる力を使って水車を回し、水車の回転で発電機を動かして電気をつくっているんだね。



発電所は、第一と第二の2カ所あるのだ。手取川宮竹用水土地改良区事務所は、宮竹用水と2つの発電所の管理を行っているのだ。



第一発電所は、石川県ではじめて作られた、農業用水を利用した小水発電所なのよ。最大出力640kWの電気を起こすことができるのよ。



第二発電所は、最大580kWの電気を起こすことができるのだ。用水の途中に沈砂池を設置しながら発電がうまくいく工夫を行っているのだ。



2つの発電所は一日中休みなく運転し、1年間で一般家庭の約3000世帯分に相当する電気を作ることができるのよ。



用水は発電だけでなく、お米を育てたり、消火作業につかったり、多くのことに利用されているのだ。



SDGsへの取り組み

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



しら調べてみよう

- ・宮竹用水は何のためにあるのか調べてみよう。
- ・宮竹用水を使ってどのようにして発電をしているのか調べてみよう。
- ・七ヶ用水についても調べてみよう。

データ

宮竹用水



連絡先 手取川宮竹用水土地改良区事務所 (0761-51-0388)
交通 宮竹第二発電所には駐車場有 (バス可)

こまつ 小松マテーレ ファーボ(浜町) はままち

こまつ 小松マテーレは、せんいなどを染めるかがくそざいあつかいかいしゃ 化学素材を扱う会社なのだ。
 せんいだけでなくいりょうけんちくしざい 医療や建築資材などにも取り組んでいるぞ。
 「ファーボ」は、こうじょうす はいきぶつ 工場で作られる廃棄物をあたらしものうか 新たな物に生まれ変わらせる「アップサイクル」の体験ができる施設なのだ。



「ファーボ」の建物



「カボコーマ」

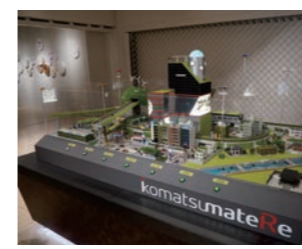
さいしん ぎじゆつ 最新の技術がズラリとならぶ



「カボコーマ」(炭素せんい複合材料)



小松マテーレの工場内



未来の都市(ジオラマ)



そらとくるま 空飛ぶ車

けんがく 見学コースにきました。こまつ 小松マテーレの開発した最新の技術を見ることができわ。「カボコーマ」は、「かるくて(鉄の1/5)、強く、さびない」材料よ。かんたんに持ち上げることができるよ。
 「カボコーマ」は、「ファーボ」の建物の補強に使われているのよ。外にカーテンのように張られたロープ状のものだよ。きよみずでら 清水寺などの文化財の地震対策にも使われているのよ。すごいでしょ。



せんしよくたいけん 染色体験
 しぼぞめ せんしよくたいけん 絞り染などの染色体験で、スマホ・メガネ拭きやマスクなどをつくってみよう。

あものたいけん 編み物体験
 はぎりょう あもの 端切れを利用したミサンガなど編み物体験に挑戦！さあ上手に出来るかな？

オリジナルクッション作り
 オリジナルクッションにハギレボールを詰め込んで世界に一つだけのオリジナルクッションを作ろう！



せんしよくたいけん 染色体験



あものたいけん 編み物体験



オリジナルクッション作り

データ
 小松マテーレ ファブリック・ラボラトリー
 [fa-bo (ファーボ)]
 住 所 〒929-0124
 能美市浜町又167番地
 小松マテーレ本社工場内
 T E L 0761-58-0374
 開館時間 10:00～17:00
 定休日 火曜日(年末年始、GW、お盆期間)
 料 金 見学無料、体験コーナー 500円(税込)/人



こまつ 小松マテーレの工場内を見ることができなのだ。おほきなガラス窓から、せいけつ 清潔であんぜん 安全に気を配られたこうじょうない 工場内と働く人のようすを見学できるのだ。こんなにちか 近くで見られるのはラッキーだぞ。けんがく 見学では、はたら 働く人のようすや説明から働きのがいのある職場を知ってほしいのだ。



こまつ 小松マテーレがかんが 考える「未来の都市」のジオラマがあるわ。かんきょう 環境に配慮されたぎじゆつ 技術を見つけたりゆめ 夢の技術を考えたりするのは楽しいわ。
 「空飛ぶ車」のボディは、せんいで出来ているのよ。実現するといいわね。



しらべてみよう

- こまつ 小松マテーレは、さいしんぎ 最新の技術のそざい 素材の開発にたいしとく 取り組んでいるかしらべてみよう。
- こまつ 小松マテーレで行われているSDGsのとりぐみについてしらべてみよう。

SDGsへの取り組み

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくる	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
---------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------

JA能美(能美農業協同組合)

JA能美は、学童農園の取り組みをしているわ。市内小学校4校の5年生が、米づくりの体験をして、米の生産と食料の大切さを知る学習の場になっているの。今は、農業機械で行う田植えや稲刈りは、むかしはすべて手作業だったのよ。



田植えの準備は、田をきれいにならしたあと、ワクをころがして(田植え①)印をつけるのだ。なかなか難しい作業なのだ。いよいよ田植え(田植え②)。タテとヨコの線の交わった所に、苗を2~3本植え付けるのだ。浅くても、深くてもダメ。どろの中で足を取られるのでゆっくりゆっくり進むのだ。



稲刈り作業は、暑いけど長袖と長ズボンでやろうね。手袋もしてね。鎌はノコギリのついた歯で、稲の株を一つ一つサクサクと刈るの。刈った稲は、刈り取った株の上にていねいに倒して置いてね。稲穂がしっかり実っていることを確かめるといいよ。これが、お米になるのよ。日本人の主食は、お米なの。大切にしようね。



データ

能美農業協同組合(JA能美)
 電話 0761-57-3505(代)
 F A X 0761-58-6410
 住所 能美市粟生町ヨ1番地



学童農園で米づくり体験



田植え① ワクをころがして印をつける



4月

田植え② 横一列に並び苗を植える



9月

稲刈り(写真3枚は宮竹小学校5年生)

地産地消



ハトムギ茶



姫九谷



JAグリーン「能美の市」

ことば 6次産業

第1次産業の農業生産者が、第2次産業(製造・加工)と第3次産業(販売・サービス)にも取り組んで生産物の価値を高め、所得を増やすことをめざすことをいう。

調べてみよう

- ・米づくり体験を感じたことをまとめてみよう。
- ・JA能美の「6次産業」の取り組みを調べてみよう。
- ・「地産地消」の良い点を具体的に農産物生産と流通と消費者との関係で調べて考えよう。

6次産業で価値を高める

能美市は、ハトムギの特産地なのだ。末信町で、栽培しているぞ。JA能美は、手取川の水を使ってハトムギをお茶に加工しているのだ。ティーパックやペットボトル飲料などで販売されているぞ。ラベルに「地産地消」と書いてあるのだ。JA能美は、「6次産業」にがんばって取り組んでいるので、このほかにも商品があるぞ。



「姫九谷」は、JA能美が販売する減農薬で有機肥料を使って育てたお米なの。コシヒカリの中でもおいしいと言われるわ。味の秘密は、こだわりの有機肥料にありそうよ。「土づくり」にこだわる生産者の気持ちが伝わるわ。どんな肥料かしら？



JAグリーン能美「能美の市」は、新鮮で安く安心な品物が買えるぞ。地元農家で作った野菜や果物や農産加工品があるのだ。つくった農家の人の名前がわかるので「顔が見える」安心感が人気。JA能美はここでも「地産地消」をめざしているのだ。



SDGsへの取り組み

